

令和 4 年 4 月 15 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
B グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
742693

代表者 校園名： 大阪市立矢田中学校
 校園長名： 西川 祐功
 電 話： 06-6702-5775
 事務職員名： 楠本 裕子
 申請者 校園名： 大阪市立矢田中学校
 職名・名前： 指導養護教諭・村上博美
 電 話： 06-6702-5775

令和 4 年度 「がんばる先生支援」 研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	新規研究（1年目）
2	研究テーマ	養護教諭の専門性を活かした健康教育の研究 —全ての子供が心身ともに健やかに成長し、 未来を切り拓く力を得ることを目指して—			
3	研究目的	テーマに合致した目的を端的に記載してください。 ○健康的な生活習慣を形成し、健康を保持増進する力を育成するために、幼稚園・小学校・中学校それぞれの幼児・児童・生徒の発達段階に応じた健康教育を推進する。 ○生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うために必要な力、「心身の健康に関する知識・技能」「自己有用館・自己肯定感（自尊感情）」「自ら意思決定・行動選択する力」「他者とかわる力」を育成する健康教育を推進する。 ○全ての子供が安心して学び、健やかに成長できる学校園生活を保障するための連携や健康管理のあり方を追求する。			
4	研究内容	繙続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。 全ての子供が心身ともに健やかに成長し、未来を切り拓く力を得るために、基本的な生活習慣の確立や、現代的健康課題に適切に対応する能力・態度・実践力を獲得するための支援方法について、養護教諭の専門性を活かすことのできるテーマを各校園種別に設定して研究を進める。 (1) すべての地区別・校種別に分かれて共同研究に取り組み研究発表を実施する。研究発表から学んだことを各学校園の健康教育の充実につなげる。今年度12月に実施する研究発表は次の3つである。 ①中央区小学校共同研究 ②住之江区小学校共同研究 ③第4aブロック中学校共同研究 (2) 大阪市養護教員会の研究部が中心になり、2年のスパンで全校園の養護教諭を対象にした学校保健に関する研究を進める。研究1年目の今年度は、研究の途中経過を3月の定期研修会で中間報告として発表する。 (3) 全国レベルの健康教育関係の研究会に参加し、研修した内容を全校園の養護教諭に報告・伝達講習することで、全校園の養護教諭の資質の向上を図り、研鑽を深める。 (4) 各校園で、日々収集している保健室統計データ『保健月報』を集計・分析し、子供たちの健康課題や問題点を見出し、心身の健やかな成長を支援する手立てを探る。また、子供たちの発信するサインにいち早く気づくことのできる立場にある養護教諭として、保健室で得た情報から、教職員・保護者・関係機関などへコーディネートすることができるよう、校務支援パソコンを機能的に活用し、保健室統計データを有効に活用する。			

研究コース

B グループ研究B

代表校校園コード

742693

代表校園

大阪市立矢田中学校

校園長名

西川 祐功

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>(1) 運営委員会・常任幹事会を開催し、研究会・研修会の企画をする。（4月・6月・10月・11月・1月・2月・3月）リモート会議も含む。</p> <p>(2) 各地区の状況に応じてリモート会議などで、地区別・校種別に分かれて区・ブロック会議を開催し、それぞれの共同研究テーマに沿った活動を進める。</p> <p>(3) 全校園の養護教諭に対して、オンラインでのデータ配信も含めた研修会を実施する。</p> <p>12月：定例研修会では、地区別校種別の共同研究の研究成果を発表し、各公演種の教育研究会や一般教員にも参加していただける機会を設ける</p> <p>3月：定期研修会では、大阪市養護教員会の研究部の発表を行い、養護教諭の専門性の向上を目指した研修の機会とする。</p> <p>(4) 大阪市養護教員会会員の中から健康教育関係の全国レベルの研修会に参加し、研修内容を報告・伝達講習する。（8月：近畿養護教諭連絡協議会・全国養護教諭連絡協議会研修会 11月：全国学校保健・安全研究大会 2月全国養護教諭連絡協議会）</p> <p>(5) 7月に新規採用の養護教諭に実務説明交流会を実施し、後進の育成に当たるとともに、資質や能力の向上を図るための支援を行う。</p> <p>(6) 子供たちの健康の保持増進の支援や健康教育の推進のための実態把握として、全校園の養護教諭にオンラインアンケートを学期ごとに実施し、その結果に基づいた資料提供や問題解決につながる取り組みを進めていく。</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 研究・研修活動で学んできたことを、各校園での健康教育実践に活かし、学校園の健康教育のレベルの向上を図る。また、養護教諭自身の子供たちに対する発達段階に応じた適切な指導や支援を効果的に行うための知識や技量の向上が見込まれる。</p> <p>《検証方法》 各種研修会などで得た知識等を、自校園での健康教育に活用し、その結果等を各区・ブロックの共同研究に活かし協議する。協議内容を定例研修会で全養護教諭に対して発表し、研究成果の共有と協議を行う。</p>
		<p>【見込まれる成果2】 すべての子供たちが、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るために、健康的な生活習慣を身につけ、健康を管理する能力を形成する健康教育の充実が見込まれる。</p> <p>《検証方法》 各校園内で子供や保護者に対して実施しているアンケートなどの調査結果から、子供たちの健康的な生活習慣に対する意識の変化や行動の変容などを読み取り検証する。</p> <p>【見込まれる成果3】 大阪市の各学校園の全教職員に対して、定例研修会の場で頑張る先生支援事業の成果発表として取組内容を報告することにより、健康教育について自校園の現状を振り返ってもらう機会とし、全市の健康教育のレベルの向上が見込まれる。</p> <p>《検証方法》 がんばる先生支援事業の発表時のアンケート調査結果により検証する。</p>

研究コース

B グループ研究B

代表校校園コード

742693

代表校園

大阪市立矢田中学校

校園長名

西川 祐功

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】</p> <p>『検証方法』</p> <p>【見込まれる成果5】</p> <p>『検証方法』</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 <u>報告書提出日（令和5年2月24日）までに必ず行ってください。</u></p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="414 968 1029 1051"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 4 年 12 月 9 日</td> <td>場所</td> <td>クレオ大阪中央</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p> <p>大阪市養護教員会のホームページで取り組みの成果を発信し、研究誌『あゆみ』を発刊する。</p>	日程	令和 4 年 12 月 9 日	場所	クレオ大阪中央
日程	令和 4 年 12 月 9 日	場所	クレオ大阪中央			
8	代表校園長のコメント	<p>多様な生活課題を有する大阪市の子どもたちに係る養護教諭が、学校の校種や規模の垣根を超えて広く情報を共有し、研究を推進することは、子どもたちの安心で安全な教育を推進し、未来を切り開く生きる力の育成につながる取り組みとなると考えられる。しいては、子どもたちの学びを生活や健康から支えるための仕組み作りにも寄与するものと考えられる。</p> <p>本校の子どもたちが抱える、基本的生活習慣や自尊感情にかかる課題は、今や大阪市全体の課題となりつつある。その視点と実践を持った指導養護教諭が中心となり、研究を推進することは、より力のある人材の育成にもつながると考えられる。オール大阪で取り組まれるこの研究成果は、大阪市全体の健康教育の推進につながると確信する。</p>				